令和８年１１月１６日

保護者の皆様

江東区立越中島小学校
校長　　大木　直之

校内研究通信「かもめっ子」

【第５回】１１月２０日研究発表会を迎えるにあたって
～「みんな、かがやく！」越中島小へ～～

これまで全５回にわたる校内研究通信をお読みいただき、誠にありがとうございました。いよいよ今週末、１１月２０日(金)に、本校の２年間の授業改善の集大成となる「校内研究発表会」を開催いたします。

多くの教育関係者をお迎えするにあたり、受付や会場誘導など運営の舞台裏を支えてくださる PTA の皆様に、改めて心より感謝申し上げます。皆様のお力添えがあってこそ、こどもたちと先生方が安心して当日を迎えられます。

１　研究発表会はゴールではなく通過点

今回の発表会は、研究の終わり（ゴール）ではありません。

「こどもが主人公！自ら学びをデザインするかもめっ子」を目指して歩んできたこの２年間は、一朝一夕に出来上がったものではなく、試行錯誤と挑戦の連続でした。１１月２０日は、私たちが目の前のこどもたちと真摯に向き合ってきた日常の授業改善の現在地を確かめる通過点に過ぎません。

こどもたちが自分で問いをもち、タブレットを文房具として自在に使いこなし、友達との対話の中で自分なりの納得解を創り出していく。この新しい学びのドラマは、発表会が終わった後も、来週も、来年も、毎日の教室で更新され続けていきます。

２　響き合う教職員集団～先生たちも共に学ぶチームへ～

この研究を通して最も大きく変わったのは、実はこどもたちだけではありません。私たち教職員集団（職員室）の姿そのものです。

講師の先生（早稲田大学・大村龍太郎准教授）からいただいた、「先生方自身が他者信頼で結ばれたチームでありなさい」という言葉のもと、先生たちは互いの悩みを打ち明け合い、失敗を責めず、共にたたえ合いながら授業づくりに挑んできました。

「失敗しても大丈夫」「仲間を頼っていい」という安心・安全の土台が職員室にあるからこそ、先生たちは自信をもってこどもたちを信じ、委ねることができます。授業改善は、学校文化そのものを変える大きな学校改革へと結実いたしました。

３　校長より保護者の皆様へ～未来を切り拓くこどもたちと共に～

正解のない複雑な社会（VUCA の時代）を生きていくこどもたちに必要なのは、誰かが用意したレールの上を間違いなく歩む力ではありません。自ら風を読み、自らの翼で大空へ羽ばたいていく力です。

教師が手厚く教え導きたい気持ちを一旦抑え、思考の余白を残してこどもを信じること。そして、ご家庭と学校が手を取り合い、こどもたちの挑戦や試行錯誤を温かく見守り続けること。それこそが、こどもたちの生きる力（ウェルビーイング）を高める確かな道だと確信しております。

江東区教育委員会が掲げる基本理念「みんな、かがやく！」のもと、本校はこれからも立ち止まることなく挑戦を続けてまいります。

こどもたちが「自分の人生の主人公」として誇りをもって歩んでいけるよう、チーム越中島小は一丸となって全力で取り組んでまいります。今後の越中島小学校の教育活動に、引き続き温かいご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【全５回 連載予定】

第１回　なぜ今、越中島小の先生たちは授業を変えているのか？

第２回　学校で広がっている新しい学びの形

第３回　試行錯誤と葛藤のドラマ

第４回　数字と姿で見えてきたかもめっ子の成長

第５回（今回）１１月２０日研究発表会を迎えるにあたって